



るらてる



2016年
11月
No.827

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区山谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp

■発行人■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-1734

説教 「イエスは涙を流された」

日本福音ルーテル天王寺教会牧師、希望の家責任者 永吉秀人

イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、言われた。「どこに葬ったのか。」
 彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。イエスは涙を流された。

(ヨハネによる福音書11章33節〜35節)

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とがあなたがたにあるように。

今年の3月、3歳の男児が急逝しました。猛威を振るったインフルエンザによるのです。4月には天王寺教会併設の真生幼稚園に入園予定でありました。2歳上の兄が在園しており、職員一同、驚きと痛みに襲われました。職員共々、仏式での通夜に参列し、小さな小さな棺に納められた

男児とお別れをすべく、その亡骸の傍らに佇んだ時、「祈りだけでなく、説教をしてください」と求めたのです。今ですか？と聞き返すと、「今ここでです！」と

羽朝早く、霊安室を訪ねると、父親が棺に寄り添っていました。夫婦交代で寝るの番をしていたものの、途中から妻は起き上がれなかったとのこと。告別式に

参加できないので祈りに来たことを伝えると、父親は「祈りだけでなく、説教をしてください」と求めたのです。今ですか？と聞き返すと、「今ここでです！」と

祈りも無き想像は退けられべきです。

死者が復活するということはない、と受け取ります。キリストの教会は、葬儀の務めを神より託されています。この務めは、キリスト者として召された者が天国へと迎えられたことを宣言することではないとわ



元にはただただ泣き崩れるばかりでした。イエス様は、マリアと一同が泣いているのを見て心に憤りを覚え、そして、涙を流されます。イエス様の憤りは、何に

た。この涙のわけを聖書は語り、秘められています。だからと言って、イエス様はラザロの死に間に合わなかったから涙を流されたのだという、聖霊が関わらず、祈りも無き想像は退けられべきです。

しかし、何ということか！さらに悲しみは覆い被さります。幼子の死からひと月も経たぬうちに父親が逝去したのです。訃報を聞いた時、まさか子の死を嘆いてかと不安を拭え

ませんが、ヨハネが伝える姉妹の様子は、また別の印象です。姉妹はイエス様にラザロが重篤であることを伝え、癒しを求めますが、主の到着は墓に葬ってから4日後でした。

まずマルタが出迎え、イエス様と復活について問答し、最後に、「主よ、あなたの子、メシアであるはずの神は信じております」との告白に至ります。遅れてマ

リヤも迎えますが、主の足元にただただ泣き崩れるばかりでした。イエス様は、マリアと一同が泣いているのを見て心に憤りを覚え、そして、涙を流されます。

ラザロの死に際して、イエス様は涙を流されました。



という読み方のほうが定着しているのに対して、戦前は「ニッポン」という読み方のほうが多かったようです。きつと、戦前は「大ニッポン帝国」だったからでしょう。憲法もそうです。戦前は「大ニッポン帝国憲法」で、現在は「にほん国憲法」です。僕は、「にほん」という読み方のほうが好きです。というのも、「ニッポン」という読み方は、「大ニッポン帝国」を想起し、そこから、他者より自分が優れていることを誇示しようとする姿勢を感じてしまうからです。しかしこれは個人的な感想です。

「日本」は「にほん」「ニッポン」のどちらの読みが正しいのだろう。結論、どちらでもかまわない、以上。

「日本」は「にほん」「ニッポン」(31%)、日本人にほん(90%) / ニッポン(10%)、日本語にほん(97%) / ニッポン(3%)、日本代表にほん(45%) / ニッポン(55%) というもので、他国と相対するとき用いる「日本代表」だけ「ニッポン」と読む人が多いようです。もちろんこのアンケート結果だけで判断することはできませんが、

現在では「にほん」(門)司教会、八幡教会、佐賀教会、牧師

岩切雄太

宗教改革500年記念事業推奨図書 『キリスト者の自由』を読む ルター研究所編著

宗教改革500年を記念して出版する本書の狙いは何か。それはキリスト者にとっての福音に与る喜びと生き方を学ぶためです。

日本福音ルーテル教会総会議長 立山崇浩

『キリスト者の自由』を読む

66版 147頁 定価：本体1000円(税込) 発行日 2016年10月1日 発売元 リトン ©ルター研究所・Printed in Japan



Giotto Di Bondone Raising of Lazarus 1304-06



議長室から

9月下旬、2日間にわたり宣教会議が開催されました。常議員会とは違い、何かを決議する会ではありませんので、自由に意見交換のできる貴重な会となりました。

「宣教会議」という名称から、宣教の仕方など教会の教勢の伸展に直結することを話し合う会を皆さんは想像されるかも

しれません。もちろんその課題を常に念頭に置いていますが、宣教するために整えるべきことについても議論しなければならぬのです。

そのひとつが牧師の人事に関するものでした。私たちの教会の人事制度

足から来るものです。招聘と応諾の原則だけで進めていきますと、ある教区の牧師たちが次から次に他教区の教会から招聘され、それを応諾した場合、空いた教会に新たな牧師を招聘しようにも、牧師不足のゆえに牧

師が見つからないという事態が起こり得るので、その教区にとっては大変な痛手となります。このような不測の事態を避けるためにも、会社や公務員のように任命制に変更すべきではないかとの意見をしばしば耳に

しています。1986年に起きたチェルノブイリ原発事故による低線量被曝により悲劇と苦しみに見舞われた人々の記録やデータや研究を参考にすることができないのではないのでしょうか。福島市にはウクライナで健康被害があった地域と同等程度の汚染度の地域があり、除染は進んでいないもの、このままではウクライナと同じように子どもたちに健康被害が出るかもしれない。

不安から、子どもたちは十分に外遊びもできず、福島県の子どもの肥満率が全国一位になったり、体力測定の結果が著しく悪化

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。

「より健全な人事制度のために」

総会議長 立山忠浩

は「招聘（しょうへい）と応諾」を基本原則としています。牧師を招く教会があり、それに牧師が応諾することで成り立つのですが、今この制度一本やりではうまく機能しない状況が生まれているのです。その原因は牧師不

足から来るものです。招聘と応諾の原則だけで進めていきますと、ある教区の牧師たちが次から次に他教区の教会から招聘され、それを応諾した場合、空いた教会に新たな牧師を招聘しようにも、牧師不足のゆえに牧

師が見つからないという事態が起こり得るので、その教区にとっては大変な痛手となります。このような不測の事態を避けるためにも、会社や公務員のように任命制に変更すべきではないかとの意見をしばしば耳に

しています。1986年に起きたチェルノブイリ原発事故による低線量被曝により悲劇と苦しみに見舞われた人々の記録やデータや研究を参考にすることができないのではないのでしょうか。福島市にはウクライナで健康被害があった地域と同等程度の汚染度の地域があり、除染は進んでいないもの、このままではウ

クライナと同じように子どもたちに健康被害が出るかもしれない。不安から、子どもたちは十分に外遊びもできず、福島県の子どもの肥満率が全国一位になったり、体力測定の結果が著しく悪化

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。



キッズケアパーク ふくしまへの支援

北澤 肯
（日本ルーテル教団 東日本大震災支援対策担当スタッフ）

いつもプロジェクト3.11のために祈りくださりありがとうございます。私は日本ルーテル教団（NRK）で災害支援を担当している竹ノ塚ルーテル教会の北澤肯です。今回は「もうてる」の紙面をお借

りして、私たちの支援している活動を紹介します。今回紹介するのは「キッズケアパークふくしま」です。これは福島教会復興支援ネットワークという福島市内の超教派の教会の働きで、NRK福島

いずみルーテル教会の野村牧師と栗原さん（元JELC蒲田教会員）が中心となって活動しています。福島第一原発の事故は、深刻な放射能汚染を引き起こしました。色々な情報がある中で、福島や近隣の汚染がどのくらい危険なのか、現段階で断定するのは難しいですが、客観的な手法で答えを出そうと

するならば、1986年に起きたチェルノブイリ原発事故による低線量被曝により悲劇と苦しみに見舞われた人々の記録やデータや研究を参考にすることができないのではないのでしょうか。福島市にはウクライナで健康被害があった地域と同等程度の汚染度の地域があり、除染は進んでいないもの、このままではウ

クライナと同じように子どもたちに健康被害が出るかもしれない。不安から、子どもたちは十分に外遊びもできず、福島県の子どもの肥満率が全国一位になったり、体力測定の結果が著しく悪化

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。

しているのです。牧師不足は今がほぼ底を打った状態で、これ以上の極端な牧師不足を想定する必要はないことも確認できたことは幸いです。



⑦開いて結ぶ

宮本 新
（田園調布教会牧師 日本ルーテル神学校講師）

一般的に説教などで音読み（漢語）を中心にする新聞記事のような書き言葉となり、逆に訓読み（和語）を多用したら話し言葉となり聞きやすくなると言われています。言葉が平易に分かりやすくなるのはとても良いことですが、時に言葉の硬さを崩さないことには固有の意味を込めてい

る場合もあります。公共とはそのような言葉のひとつです。言語学者の渡辺浩さんによると、和語の「おほやけ」は、「お上」や「下々」といった上下関係に区切られ、しかも上から下へと統制作用が働くそうです。他方で漢語の「公」には「共（common）」につなげて、普遍的な世界を開いていく開放性が含まれていると言われ、前回述べたとおり、「パブリック

にも「人々」という意味合いがしっかりとありませう。教会×公共で追ってきた「開いて結ぶ」線と重なります。今年の宗教改革記念日、スウェーデンのルンドでローマ・カトリック教会とルーテル世界連盟、そしてスウェーデンの管区、教会の共催で共同祈禱が行なわれました。恐らくキリスト教史に残る出来事になるでしょう。他方でその背後には50年にわたる対話の積み重ねがあり、日本福音ルーテル教会からも先人たちのご奉仕が刻まれています。

またアジアにおいては宗教改革500年にあわせて香港、フィリピンなどで「公共性」をテーマにルーテル世界連盟主催の国際シンポジウムが開かれました。アジア各地の極めてローカルで流動的、そして多元的な貧困と紛争、摩擦や対立に身を置く人々の声を取り交わされていました。どの発題者も個人として立ちながら、ローカルな教会の「顔」が自然と見えてくる印象深い集まりでした。「ルーテル」というときにすでに国境、そして教派や宗教を越えたネットワークの形成が進んでいます。ルンドで記念された「争いから交わ

りへ」はそこでもキーワードになっていました。▼新約聖書でキリスト者という呼称が登場する前に、それが何であるのかを福音書記者ルカはイエスの言葉として記しています。「あなたがたは地の果てに至るまで、わたしの証人となる」（使徒言行録1・8）。「証し」の語源は目撃者、証し人とは聖霊を受けて、見て聞いて話す者のことです。私たちは何を見る者と招かれ、召されているのでしょうか。この言葉は未来形として私たちの手元にも届く約束の福音だと思えます。（了）

春の全国ティーンズ キャンプ2017 スタッフ募集のお知らせ
2017年3月27〜30日に、高尾の森わくわくビレッジ（東京都八王子市）にて開催される「春の全国ティーンズキャンプ」を、ティーンズと一緒に過ごしてくださるスタッフを募集します。募集するスタッフは、リーダー、オーディオ、マネジ

メント、賛美です。詳細は、ホームページにてご確認ください。
<http://the-next-globlog.jp>



宗教改革500年に向けて ルターの意義を改めて考える (54)

ルター研究所長 鈴木 浩

「義認」という言葉はラテン語では iustificatio (ユスティフィカティオ) という。語尾が「o」という単語の場合、それに「o」を加えると大概の場合、英語になる。だから、iustificatio となら、conditio (コンディティオ) は、conditio となる。

「義とする」という動詞は iustificare (ユスティフィカール) である。これは、ラテン語の古典時代にはなかった言葉で、キリスト教の神学用語として作られた言葉である。iustum (ユストゥム、義を、義人を) + facere (ファケレ、作る) から成る合成語である。

「義とする」とか「義認」という言葉には実はかなりの意味の幅がある。かつては、プロテスタントが「宣義」という訳語を好み、カトリックが「義化」という言葉を使ったのも、もともと意味の幅が広いからであつた。

「義である」と宣告することを意味している。他方「義化」の場合には、「義人とされる」という意味で、人間存在が実際に義人になることを意味している。だから、実際には「聖化」という言葉とその意味がかなり重なってくる。

ルターの場合、「義認」という言葉は「救いの出来事全体」を指している。プロテスタントは後に「義認と聖化」という言い方をするようにするが、ルターはそれのように考えなかった。それは、「入学と卒業」と同じようになって、「義認」が救いの出来事の「入り口」になつてしまふ、やがては「入り口でしかない」と思われてしまふからである。

「宣義」とは、法廷の場合が背景にあつて、裁判官が



⑬ 終末を見詰めて

起きよ、エルサレム、時こそ来たれり (教会讃美歌137番)

教会暦の最後の主日はマタイ25章と「起きよ、エルサレム、時こそ来たれり」と結びついて、歴史の中に生きるわれわれに終末という視点を気付かせる(物見とおとめたちとのやり取りはマタイ受難曲第一曲にも使われて、イエスの生涯の終わり、実は十字架と復活を告げて、終末を先取りしている)と聴くことができ

時を告げて、人を驚愕させるのである。フィリップ・ニコライの3節からなるコラールは「時こそ来たれり」とその祝宴の喜びを歌い上げる。バッハは1731年の教会暦の終わり、三位一体(聖霊降臨)後最終主日のためにこのコラールとマタイ25章とを織り交ぜて、終末の到来とその喜びを歌い上げた(歌詞第一節を歌う合唱曲はオルガンのためのコラール前奏曲としても残されている)。花婿キリストと信仰者の魂(花嫁)のやり取りが美しく歌い上げられて、コラール3節と共にこれはバッハのカンタータの中でも名曲とされるものの一つである。われわれはキリスト者であると言つても、この世界の中の、罪の人間の歴史のただ中で生きるこ

2017年 教会音楽祭のテーマ曲 作詞の選考結果と作曲の募集

2017年の6月、第33回教会音楽祭の開催を予定しています。

今回のテーマは「心ひとつに」から交わりへ」ということで、テーマ曲の歌詞の募集を行いました。ありがとうございます。

- 1 心ひとつに 祈ろう
- 2 心ひとつに 祈ろう
- 3 われらの願い 祈ろう
- 4 心ひとつに 主イエスを

共に生きるこの日のために
われらの痛み 祈ろう
ゆるしいやし もとめて
互いのいのち 抱(いだ)きあい
共に生きるこの日のために
われらの願い 祈ろう
あはゆる民に 平和を
互いのいのち ささきあい
共に生きる 明日(あした)のために
心ひとつに 主イエスを
心ひとつに 信じて
われらに愛を くださった
共に生きる 主イエスのいのち
この歌詞によって共に歌うための曲を募集します。音楽祭参加者がみならず、歌うことを想定してあります。尚、採用作品は多くの教派を超えて自由に用いられるものであることを理解の上、ご応募ください。審査は、教会音楽祭実行委員会にて行います。

ルーテルアワー biblestudy.jp
「ルーテルアワー」のサイト [あなたの部屋]より
喜びに溢れて今 ヨハネ 1:10-13
伊藤早奈

【祈り】「私はここにいていいのだろうか。」と急に不安になり、自分を追いつめてしまうことがあ

ります。そのような私に神様あなたは「ここにいていいんだよ。」とやさしく愛で包んでくださいます。神様あなたが共にお

「あなたから言葉は決してとられない。」

前にお医者さんから言われた言葉です。私は病気の診断を受けたばかりで、いづれは自分の話す言葉も人には伝えにくくなるだろうという不安から、お医者さんに「いつ

「あなたから言葉は決してとられない。」

前にお医者さんから言われた言葉です。私は病気の診断を受けたばかりで、いづれは自分の話す言葉も人には伝えにくくなるだろうという不安から、お医者さんに「いつ

「あなたから言葉は決してとられない。」

前にお医者さんから言われた言葉です。私は病気の診断を受けたばかりで、いづれは自分の話す言葉も人には伝えにくくなるだろうという不安から、お医者さんに「いつ

「あなたから言葉は決してとられない。」

前にお医者さんから言われた言葉です。私は病気の診断を受けたばかりで、いづれは自分の話す言葉も人には伝えにくくなるだろうという不安から、お医者さんに「いつ



詳しい応募要件は、ホームページをご覧ください。
https://goo.gl/IZaZnN

「心配センデヨカ」の森勉先生

定年教師 賀来周一

森勉先生の葬儀が終わった次の日曜日、むさしの教会で森先生のご子息のお連れ合いに会った。教会への挨拶のためであった。目に一杯涙をたたえな



森勉牧師 1931.10.26~2016.9.16
1958年 牧師按手、柳井、天王寺、神水、京都、広島諸教会、事務局長、総会議長を歴任。

から「父は、何時も私たちに言っていました。『大丈夫、大丈夫、心配しなくていいよ。私たちは、その言葉で安心して生きてきたのです。先生を見たら急に

父を思い出して悲しくなつて」と。こちらもついウルウル…。

森先生とは、神学校が中野区鷺宮にあった時代からの仲間である。当時は熊本出身者が多く、神学校では熊本弁が飛び交っていた。夕方、近くの銭湯亀の湯」に行く」と今日のお前の説教はナ…云々」と朝の日課(aman)での説教批判を神学生たちが熊本弁を交えて大声で話し、そこへ時々北森嘉蔵先生が入って来ては、ひとときり神学談義が始まるという始末。同じ湯船に浸かっている近隣の人たちを驚かせた。

やがて、卒業。森先生は山口県柳井を皮切りに伝道を開始した。その後、天王寺教会を教会し、この間、先生は多くの献身者を送り出した。市原正幸、渡邊純幸、山之内正俊、渡邊賢次の4牧師に加え、途中、福祉事業等へ転身したが、田内豊氏、河島公美氏らがいる。

1975年、JELCは海外教会からの財的支援を断り、自立した。先生は1976年、広報室長、書記、事務局長と歴任。4年後の1980年に総会議長に選任された。その間、神学教育や会堂の老朽化対策、開拓支援などは不足

するので、収養事業を起すこととなった。その事業が市ヶ谷センター、ホテル・ザ・ルーテル、女子学生会館カテドリックである。当時「伝道し、奉仕する神の民」というスローガンを立て、宣教の自立とした。森先生は、これに加えて広島会館を建てたのである。この時期、オニの前田、トボケの森、ホトケの賀来と言うコトバが流行った。オニの前田はきつちり仕事を果たし、トボケの森は懐深く、「ヨカ、ヨカ」と人々を安心させ、ホトケの賀来は野仏のように立っていたからである。今は感謝に尽きる。

全国青年修養会報告

9月17、19日に箱崎教会にて24名が参加し、「タラントをさがせ!」とのテーマで開催された、第20回全国青年修養会の報告を参加者の感想からお届けします。

森 一樹(市ヶ谷教会) 私にとっては2度目となる修養会でした。今回の期間ではつきりと自分のタラントについて認識できた訳ではないけれど、自身のタラントとは、また隣人のタラントとは、そしてそもそも「タラント」とは何かという本質的なところまで掘り下げて考え、意見を交換できたことは本当に幸いでした。

トを自分のためだけに使わず、神様の導きのもと、他者のため、教会のため一人一人に訪れることを心から願います。

松本義輝(神戸教会)

教会のキャンプには「ルーテルこどもキャンプ」、「春の全国ティーンズキャンプ」にも全て皆勤で参加していました。この春にとうとう最後のキャンプを終えて卒業してしまい、キャンプに参加するにはスタップになるしかないんだと思っていたら、ずっと一緒にキャンプに行っていた同級生の深町くん(箱崎教会)から修養会の開催の連絡をもらいました。でも、ひとりで行くにはちよつと気が引けるなと思つてやめようと思つたら母親に「後悔してもしらんで」という風に言われ、キャンプに一緒に行っていた同級生たちを声掛けしてギリギリながら何とか3人集まること

こういう全国の教会のつながりというのは集まらないと何も始まらないし、集まらなければなりません。だから来年は僕と同じ年の同級生みんな参加して集まりたいと思つています。

テーマは「タラント」について、最初は何も分かんなかったけれど、今では自分のだけではなく友達の間で分かれます。勉強会や証しを通じて色々なことを学ばせていただきました。

互いに支え合う教会を目指して

関野和寛(東京教会)

人は誰しも人生の危機を経験します。人間関係の破綻、失業、離婚、病、死別…。そのような試練の中にいる人を教会はどのようにサポートすることができのでしょうか。その役割を担うのは牧師だけではなくか。

東京教会では、ステファーンミニストリーという1975年にアメリカのルーテル教会牧師であり、精神科医でもあるケネス・ハーグさんがはじめ

た働きを取り入れ、実践しようとしています。

ステファーンミニストリーでは、25回(70時間)のトレーニンングを牧師と信徒が共にしています。トレーニンングでは聖書をベースに、傾聴の方法、守秘義務の守り方、死別を経験した人への寄り添い方、相手の問題に巻き込まれないための境界線の守り方、心の病を持った方々を正しく専門家へ繋ぐことなどを学びます。そしてこのトレーニンングを修了した人はステファーンミニスターとして認定され、教会内外で様々な問題を抱えた人々に寄り添います。この働きは本来に広がり、40年

間で教派を超えて1万2千教会、7万人が関わっています。

東京教会では、4月からこのトレーニンングを開始しました。夏には牧師と信徒11名がアメリカのカリフォルニアにて約10日間、アメリカの復活教会と共にトレーニンングを受けてきました。日本ルーテル神学校で長きに亘りカウンセラーリングを教えておられたケネス・デール先生も、ステファーンミニスターとしてカリフォルニアで奉仕しておられ、現地では私たちに講義もしてくださりました。

東京教会では、来年の

春までにトレーニンングを修了したステファーンミニスターが誕生し、牧師だけでなく信徒も共に重荷を

持った人々に寄り添うことを目指しています。

来年は宗教改革500年の年。全信徒祭司を掲げるルーテル教会としてこの新たな宣教・牧会に取り組みたいです。またステファーンミニストリーの学びと実践が



他の教会にも広がることを願っています。興味のある方は、是非ご連絡ください。

また同年代の青年たちとの新たなつながりや、普段はなかなかお話しする機会がない多くの牧師の皆さんとの交わりは大変貴重なものでした。自身の「強さ」を活かすことはもちろん、自身の「弱さ」の中にもタラントが存在するのでは、という、ある参加者からの意見は特に印象深く残っており

また、自身のタラントを自分のためだけに使わず、神様の導きのもと、他者のため、教会のため一人一人に訪れることを心から願います。

